

米粉と米粉料理をもっと知って

～塩尻市農村女性いきいきネットワーク会議の取組を共催しました～

長野農政事務所地域第一課は、11月27日に塩尻市の塩尻総合文化センターで開かれた「第17回 輝け農村女性 “夢とロマンのパフォーマンス” 塩尻食のミュージアム」の会場で、米粉推進やめざましごはんに関連するパネルなどを展示しました。(写真右上)

この催しは、“地産地消～地域の特色ある食文化の伝承”を若い世代に伝えていくことを目的に、“塩尻市農村女性いきいきネットワーク会議”(JA塩尻市女性部・JA洗馬女性部・生活改善グループ・考える農業学習塾・農村生活マイスター)が毎年開いているものです。

今年のメインテーマは、米粉及び米粉製品の利用・供給体制の構築推進でした。



オープニング・アトラクションには、塩尻市宗賀中央保育園児と市の食育キャラクター“グレータス”(市特産のグレープとレタスが名の由来)が登場。会場に明るく元気な声が響きました。



食育・料理研究家である坂本廣子先生が「米粉から考える日本の食」と題して講演されました。お話しの中で、近畿農政局における米粉普及推進協議会の活動などが紹介されました。



長野農政事務所地域第一課